



道の駅による地域活性化

道の駅講演会

道の駅講演会が2月19日、平泉文化遺産センターで開かれました。

講演会では、株式会社かほく・上品の郷(道の駅「上品の郷」)の代表取締役兼駅長の太田実さんが「地域活性の先頭に立って」と題して講演。「すぐやる、必ずやる、できるまでやる」をモットーとした自身の経営哲学や、地域振興に果たす道の駅の役割について語り、参加者らはメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。



修了証書を受け取る受講者

食を通じた健康づくり

保健栄養教室修了式

食生活改善推進員の養成を目的に全6回コースで開催した保健栄養教室の修了式が1月25日、保健センターで行われ、受講者に修了証書が手渡されました。

同教室には行政区から推薦を受けた29人が参加。生活習慣病予防のための食事のとり方や食品衛生、食の環境保全や食育などについて、管理栄養士から講義や調理実習などを通して知識を学びました。

勇ましい掛け声とともに豆をまく参加者(写真上) / 元小結の振分親方(写真右) / 親方と一緒に豆をまく園児(写真左)

天に花咲け！地に実なれ！

中尊寺節分会

中尊寺で2月3日、恒例の「節分会」が開かれました。豆まきには、大相撲元小結高見盛の振分親方のほか、町内外から厄年の男女や年男年女ら101人が参加。「天に花咲け、地に実なれ、福は内！鬼は外！」の勇ましい掛け声とともに豆がまかれると、会場に詰めかけた町民や観光客は競って縁起の良い豆を拾い集めていました。

これに先立ち、町内の幼稚園・保育所の園児による豆まきや抽選会も行われ、境内にはにぎやかな歓声が響き渡りました。



参加者を前に講演する上品の郷駅長の太田さん

人権擁護委員として尽力

石川さんに感謝状

長年にわたり人権擁護委員を務めてきた石川敦子さん(18区)が法務大臣から感謝状が贈られました。

感謝状の贈呈は1月25日町役場で行われ、盛岡地方法務局一関支局の澤目幸支局長から手渡されました。石川さんは平成15年4月から24年12月まで人権擁護委員を務められ、その間、一関人権擁護委員協議会常務委員なども歴任、さまざまな相談に応じてきました。石川さんは「皆さんのおかげでここまでやってこれました。これからもできることがあれば協力していきたい」と笑顔で話していました。



退団のあいさつを行う及川さん

多彩な演目を披露

芸術文化祭舞台部門発表会

平泉芸術文化協会(浅利和昭会長)の芸術文化祭舞台部門発表会が2月16日、平泉小学校体育館で開催されました。発表会には、日ごろから舞踊や三味線、民謡などに取り組んでいる17団体が72の多彩な演目を披露。また県芸術祭民謡功労受賞者による民謡や放課後児童クラブによる元気なダンスなども披露されました。

ステージ上で繰り広げられる見事な発表に、詰め掛けた観客からは盛大な拍手が送られていました。



息のあった舞踊を披露する出演者(写真上) / 放課後児童クラブによる元気いっぱいのダンス(写真左) / 民謡の歌声は会場全体に響きわたった(写真右)



感謝状を受け取る石川さん

防火の決意新たに

長島少年消防クラブ退団式

長島小学校の長島少年消防クラブの退団式が2月15日、同校体育館で行われ、6年生22人が同クラブを退団しました。

退団式では仁昌寺校長が「火災をなくする誓いある3つの事を意識し、下級生をリードしてきました。心から感謝します」とたたえました。団長の及川隼斗さんが、これまでの活動を振り返るとともに「火災はかけがえのないものを奪ってしまいます。火災は絶対に起こしてはいけないのです」と退団のあいさつを述べ、決意を新たにしていました。